

1 次の各問題の に当てはまる数や文字を、答のところに記入しなさい。答だけでよい。

(1) $(20.26 - 3.51 \times 2\frac{12}{13}) \div \left\{ \left(\frac{5}{6} - \frac{1}{4} \right) \times \frac{4}{7} \right\} = \text{$

(1) の答

(2) $\frac{23}{14} - \text{} \div 2\frac{1}{3} + 1\frac{3}{7} \times 0.175 = 1.25$

(2) の答

- (3) ある店では、ミカンを 1 個 63 円、リンゴを 1 個 98 円、ナシを 1 個 105 円で売っています。ミカンとリンゴを合わせて 40 個買ったところ、代金は 3115 円でした。このとき、買ったリンゴの個数は 個です。また、ミカンとリンゴとナシを合わせて 100 個買ったところ、代金は 9163 円でした。買ったミカンとナシの個数の比が 2 : 3 であったとき、買ったリンゴの個数は 個です。

(3) の答

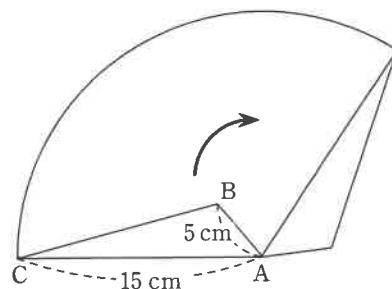
①	②
---	---

- (4) 赤玉と白玉が何個かあり、赤玉は白玉より 20 個少ないです。赤玉と白玉を、用意した袋に入れていきます。1 つの袋に赤玉だけ 4 個ずつ入れると、2 個余ります。また、白玉だけ 7 個ずつ入れると、1 つだけ 5 個になり、袋が 3 つ余ります。すべての袋に白玉を 7 個ずつ入れるには、白玉は 個不足します。また、赤玉と白玉は合わせて 個あります。

(4) の答

①	②
---	---

- (5) 右の図のような三角形 ABC があります。三角形 ABC を点 A を中心にして時計回りに 度回転させたところ、点 C が動いたあとの線の長さは 28.26 cm でした。また、このとき辺 BC が通った部分の面積は cm² でした。ただし、円周率は 3.14 とします。



(5) の答

①	②
---	---

- (6) 0 から 9 までの数字が 1 つずつ書かれた 10 枚の丸いカードがあります。これから何枚か選んでカードの一部が重なるように並べます。重なった部分はそれぞれのカードの数字の和を表すとして、例えば、1 と 5 のカードを図 1 のように重ねると重なった部分は 6 を表します。さらに、図 2 のようにもう 1 枚カードを重ねると 3 枚重なっている部分が 13 になりました。このとき、最後に重ねたカードの数字は ① です。また、3 枚のカードを図 3 のように重ねると、2 枚だけ重なっている部分のうち 2 カ所が 10 と 12 になりました。このとき、3 枚重なっている部分が表す数字は ② 通りあり、そのうち最も大きい数字は ③ です。

図 1

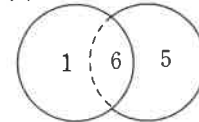


図 2

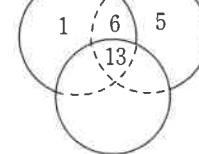
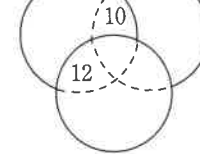


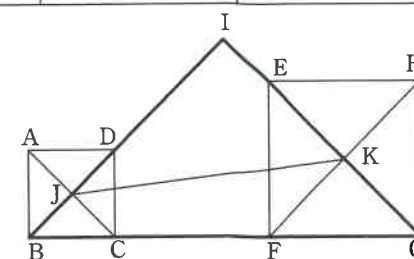
図 3



(6) の答

①	②	③
---	---	---

- (7) 右の図のように、1 辺の長さが 6 cm の正方形 ABCD と 1 辺の長さが 10 cm の正方形 EFGH があります。BG の長さが 24 cm のとき、三角形 BGI の面積は ① cm² で、三角形 IJK の面積は ② cm² です。



(7) の答

①	②
---	---

- (8) 午後 1 時ちょうどに正しい時刻に合わせた 2 つの時計 A, B があります。A は常に正しい時刻を指し、B は 1 時間当たり 6 分早く進みます。この日の午後 4 時と午後 5 時の間に、A の時計の長針と短針が作る角の大きさが 45 度になるときが 2 回あります。2 回目に 45 度になるのは午後 4 時 ① 分で、このとき、B の時計は ② 時 ③ 分を指しています。

(8) の答

①	②	③
---	---	---

- (9) 134, 341, 479 をある 2 桁の数で割ると余りがすべて同じになりました。割った数が ① のとき余りは ② で、割った数が ③ のとき余りは ④ です。ただし、 ① は ③ より小さい数とします。

(9) の答

①	②	③	④
---	---	---	---

- 2 ある商品を 1 個 560 円で何個か仕入れ、仕入れ値の 40 %の利益を見込んで定価をつけました。
1 日目は定価で売ったところ、76 個売れ残りました。そこで、2 日目は定価からいくらか値引きして
売ったところ、すべて売れました。その結果、利益は最初の見込みより 14896 円少なくなりました。
(1) 2 日目の売値は定価の何%引きでしたか。
[式と計算]

答

- (2) 1 日目終了時点での売り上げから仕入れ値の総額をひくと 15680 円です。このとき、1 日目に
売れた商品は何個でしたか。
[式と計算]

答

- 3 川沿いの上流に P 地点、下流に Q 地点があります。A 君が P を、ボートが Q を同時に出発し、
A 君は P から Q まで歩き、ボートは Q から P に行き、すぐに引き返して Q までもどります。
ボートは Q から P まで行くのに 28 分かかり、P から Q までもどるのに 12 分かかります。ただし、
A 君の歩く速さと、静水でのボートの速さと、川の流れの速さは一定とします。
(1) 静水でのボートの速さと川の流れの速さの比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。答だけで
よい。

(ボートの速さ) (川の流れの速さ)
答 :

- (2) A 君とボートは出発して 21 分後に出会い、Q まで 3080 mの地点で A 君はボートに抜かれ
ました。P と Q の間の距離は何 m ですか。ただし、ボートの長さは考えないものとします。
[式と計算]

答

- 4 あるクラスで問題 A，問題 B の 2 問からなる 1 問 10 点で計 20 点のテストを行ったところ、クラ
ス全員の得点の合計は 660 点でした。A を正解した生徒は男子の 80 %と女子全員でした。また、
B を正解した生徒のうち、男子は A を正解した男女の合計より 8 人少なく、女子は 6 人でした。
さらに、20 点の生徒は 26 人で、0 点の生徒はいませんでした。
(1) A だけを正解した生徒は何人ですか。
[式と計算]

答

- (2) このクラスの男子、女子はそれぞれ何人ですか。
[式と計算]

答 男子 , 女子